

令和7年度 第2回米子市図書館協議会・会議概要

○日 時 令和8年1月30日（金） 午前10時から午前11時45分まで

○場 所 米子市立図書館 研修室1、2（2階）

○出席者 委員

　渡邊眞子（会長）、上村一也（副会長）、八幡晋史、金本由香、

　小原葉子、藤原実男、大江忍、上田京子、三瓶まり

　教育長 浦林 実

　事務局

　（米子市立図書館）永瀬館長、（一財）米子市文化財団 佐藤図書課長

　（米子市教育委員会）田中生涯学習課長、松永生涯学習課担当課長補佐、
　新見生涯学習課主任

○欠席者 1名（足立彰子）

○傍聴者 なし

○報道関係 なし

【協議会の概要】

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

4 会長及び副会長の互選

会長に渡邊眞子委員を、副会長に上村一也委員を選出。

5 会長及び副会長あいさつ

6 議事

（1）令和7年度利用状況及び事業実施状況について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

ア 令和7年度図書館利用状況《12月末現在》[資料1-1]

イ 令和7年度図書館事業実施状況《12月末現在》[資料1-2]

ウ 令和8年1月6日に発生した地震による米子市立図書館の被害状況について

[参考資料]

《委員質疑・意見》

○（委員）録音図書の貸出サービスについて、活字による読書が困難な方が対象になるということだが、条件をもう少し詳しく聞きたい。

⇒ (事務局)

初回利用の際に、ハートフルサービス利用者登録を行う。その際、チェック項目に基づき、利用可能かを判断する。必ずしも障害者手帳を持っていなくても、他の条件に合えば利用は可能。

(委員) 私は目が悪くなってきて、利用可能か確認したところ、可能であるということで録音図書を利用したことがある。私の場合は、以前活字で読んだことのある本を聞き直すという使い方をした。登録者が36人という説明があったので、条件が結構厳しいのかなという印象だが、具体的な線引きを教えていただきたい。

⇒ (事務局)

以前、本と録音図書を両方借りたいという申し出があったが、その場合はお断りをした。著作権の関係もあり、あくまで活字を読むのが難しい方向けのサービスという観点から、通常の活字が読める方はお断りをしている。図書館としても、線引きについては課題意識を持っている。

携帯プレーヤーを所有されている方には、データをお渡しするだけなので提供しやすいが、プレーヤーを借りたいという場合には台数に限りがあるため、お待ちいただく場合がある。

○ (委員) 小学4～6年生向けのジュニア司書体験の様子について伺いたい。また、中高生に向けた司書体験はあるか聞きたい。

⇒ (事務局)

午前に1回、午後に1回、それぞれ2時間で実施した。内容は、座学で図書の分類について学んでいただき、その後、館内の見学・カウンターエクスペリエンス、本を検索して探しに行くフロアワークの体験をしてもらった。

中高生については学校を通じて職場体験・インターンシップの受入を行っており、今年度は湊山中学校と後藤ヶ丘中学校から、3日間の受入を行った。本の選書や各種支援サービスについても説明し、また、将来、図書館で働きたいという声もあり、進路についての情報提供も行った。

(2) 利用者アンケート結果について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

- ア 利用者アンケート結果（概要）[資料2-1]
- イ 利用者アンケート結果（年代別集計）[資料2-2]
- ウ 利用者アンケート結果（その他主な意見）[資料2-3]

《委員質疑・意見》特になし

(3) 令和8年度事業について

《事務局説明》

下記の内容について資料に基づいて説明。

- ア 令和8年度図書館事業（計画案）[資料3]
- イ 図書館情報システムの更新について（検討中）[参考資料]

《委員質疑・意見》

- (委員) 学校図書館への貸出について、学校として日頃から非常にありがたく思っている。学校からのリクエストに対して貸していただくだけでなく、学校まで届けていただける物流の仕組みまで整っていることは、他の自治体の先生からいつも羨ましがられている。今後も継続をお願いしたい。
- (委員) 毎年のことだが、アンケートで「本や雑誌を充実してほしい」という要望がある。本や雑誌の充実というのは予算の裏付けなしには進まないで、協議会資料には予算の数字についても出していただきたい。
- ⇒ (事務局)
- 予算については、1月末の時点では次年度予算が通っていないため情報として出せないという事情がある。5月に実施する協議会では、予算についてもご説明するようにしている。
- (委員) アンケートに対して、一つ一つ丁寧に分類し、答えている姿勢については素晴らしいと思う。
- ⇒ (事務局)
- これは、図書館職員にとっても必要なことだと考えており、本当の課題は何なのか、区別がつかないうちにスルーしてしまうことの無いように、一つ一つ確認している。意見に対する回答も、あくまでその時点の答えであって、時間の経過とともに変わってくる可能性があるという意味で、現状説明という言葉を使っている。
- (委員) 中学生の作った「シャイグ」という防災シミュレーションゲームの体験会を図書館の事業で行ったのも良かったと思う。1月6日に大きな地震があり、利用者の方を外に避難誘導したということだったが、日頃の防災に対する意識・訓練の賜物だと思う。子どもの読書の入口になるようなゲームもあったと思うので、そういったゲームをやってみるのもいいと思う。
- ⇒ (事務局)
- 防災に限らずゲーム性のあるものを読書と連動させていくということは、世の中にいっぱいあるのかもしれない、アンテナを広げて考えていきたい。
- (委員) 今日来た時に、駐車場の枠が広がっているのに気づき、嬉しかった。子連れのお母さんや皆さんも喜んでいると思う。
- (委員) これだけの数の事業を、20名足らずの職員の皆さんでやりくりし、利用者の皆さんの意見を取り上げて運営されている事に対し、まず感謝申し上げたい。
- 今年度初めて、私は、米子市立図書館で子どもに特化した国際理解講座を、ヨーロッパを取り上げて2回実施させてもらった。米子の小中学校では、アジア、特に中国・韓国について学ぶ機会はあるが、ヨーロッパについて学ぶ機会がないと感じていた。小学生の自由研究にもつながり、学校でもすごく評価されたとのこと。また、講座に一緒に参加される親御さん

で、お父さんの参加が多かったのが印象に残っている。さらに、講座で学んだ内容に関連する本を図書館で借りて帰ることにつながったということ、図書館であるべき姿の講座だったなと思った。国際理解講座については、テーマ・講師を、どなたがやってもいいと思うので、来年度以降もぜひ続けていっていただきたいと思う。

⇒ (事務局)

令和7年度に国際理解講座や外国人を招いての英語の絵本の読み聞かせを行ったこともあり、令和8年度から「多様性を目指した子ども向けのイベントの開催」という施策を掲げることにした。今後、国際理解というキーワードも含めて、どういうものしたらいいか考えていきたい。

○ (委員) 学校図書館職員の研修支援について伺いたい。別の自治体の小学校に新しく勤め始めた方から、研修の情報がなかなか入ってこないという困りごとを聞いた。一人職だし、非常勤職員という立場でものを言ったり、自分から情報を取りに行くのが難しいんだろうなという状況は想像できる。米子市ではどのようにされているか伺いたい。

⇒ (事務局)

米子市では、こども施設課が研修を企画し、毎年、市立図書館の研修室に各学校から集まってもらって実施している。米子市立図書館の司書も参加して支援している。また、ボランティアの読み聞かせの研修等も、学校司書さんに呼びかけをして参加してもらったりしている。

○ (委員) 境港市民図書館の館長と境港のマグロ祭りで出会ったときに話をした。何をしに来たのかと聞くと、市からの要請もあって、移動図書館と一緒に来ていた。魚関係の本をたくさん載せて見せてもらったり、図書館の利用者カードを新しく発行したりしていた。米子市の移動図書館車の利用も今年増えたとのことだが、何かイベントへの出展をしているか。

⇒ (事務局)

米子市では、9月に開催しているカルチャーフェスティバルに移動図書館車を参加させて、図書館のPRをしている。今後、他にも米子市の人たちに集客できるイベントがあれば、検討してみたい。移動図書館車の利用者の増については、車を更新することで関心が高まり、その効果で増えたのではないかと思っている。

○ (委員) 子どもたちや若者に、身近にこんなに立派な図書館があるんだということを知ってもらうきっかけづくりが出来たらいいと思う。例えば、美術館や児童文化センター、米子城跡など歩いて回れる範囲に米子市の施設が充実しているので、それらうまくコラボレーションするような事業であれば、米子市の「歩いて楽しいまちづくり」にもつながる取組となる。

⇒ (事務局)

幼稚園・保育園・小学校などは、学校が企画されて美術館・歴史館と図書館を組み合わせて毎年多数訪問いただいている。また、米子市文化財団

では、山陰歴史館が中心になって、市内のいろいろな歴史施設を巡る事業を企画され、その集合場所が図書館になっている。いただいたご意見を参考に、いろいろな組み合わせを考えていきたい。

○（委員）国際ソロプチミストとして、1990年から毎年書籍を贈呈させていただいている、ソロプチミスト文庫のコーナーを作っていたいが、そこにあると利用者の方が見つけにくいのではないか、一般の棚においてもらったらと思うがいかがか。

⇒（事務局）

1990年以降、たくさんの本を贈呈いただいているので、実際、ソロプチミスト文庫のコーナーには入りきらないくらいの量になっている。一定期間は文庫のコーナーに置かせていただき、その後は分類ごとの棚に置かせていただいたり、学校に貸出している。

○（委員）去年の暮れにゴッホ展に行く前に調べようと思い、図書館に伺った。日がなかったので、漫画・伝記の棚に行ったが、借りられていてがっかりしていたところ、作業中の司書さんに聞いてみたところ、作業の手を止めて検索してくれ、何冊かリストアップしてくれた本がとても分かりやすくて嬉しかった、という出来事があったので紹介したい。

⇒（事務局）

資料相談ということで、日々たくさんの利用者の皆さんからご相談を受けています。すぐに答えが出ない場合もあるかもしれないが、調べてお答えするので、気兼ねなくご相談いただけたらと思う。

7 その他

《事務局連絡》

次回の協議会の会議は、令和8年5月末を予定。

8 閉会